



# BUSINESS REPORT

第16期 株主通信

2012年4月1日 ▶ 2013年3月31日



## トッピメッセージ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、FPD(フラットパネルディスプレイ)産業の黎明期にあたる1997年にFPD製造装置メーカーとして創業し、独創的な製品やサービスをお客様に提供することを目標に社業に励み、おかげさまで2012年10月に15周年を迎えることができました。これはひとえに株主の皆様をはじめ関係各位のご支援、ご鞭撻の賜物と、深く感謝申し上げます。

皆様もご存じの通りわが国経済は、世界景気の減速などを背景として先行き不透明な状況で推移してまいりましたが、昨年末の政権交代後は各種政策への期待感から円安・株高が進み、景気回復への兆しが見え始めてまいりました。

このような環境の下、当社は、中小型高精細ディスプレイ及び大型テレビ用液晶ディスプレイに関する設備投資案件の受注活動を積極的に行いました。また、有機ELディスプレイ用装置についても積極的な顧客開拓を国内外で推進いたしました。

当期の受注金額は、主に中国・韓国向け検査関連装置、国内及び中国向けの露光装置及び関連消耗部品・メンテナンス等の受注により、

73.5億円(前期72.7億円)となり、当期末の受注残高は64.5億円(前期23.3億円)となりました。

一方、売上高は36.6億円(前期136.8億円)となり、営業損失は11.4億円(前期営業利益5.3億円)、当期純損失は8.3億円(前期当期純利益3.2億円)となりました。これは、当社顧客の業績回復遅れ等により、設備投資の一部が削減及び延伸したことによるものです。

配当につきましては、厳しい経営状況ではありますが、当社の配当方針に基づき、据え置きとさせていただきます。

今後は、液晶ディスプレイ分野においては、検査関連装置・製造装置のシェア拡大を図り、この分野での勝ち残りを目指してまいります。また、成長が期待される有機ELディスプレイ分野では、これまで困難であった大画面テレビ、スマホ用超高精細ディスプレイ、そしてフレキシブルディスプレイ\*1等の量産を実現する新しい製造装置の受注活動を強力に推進いたします。これらに加えて、将来に向けて新事業を開拓する為、次世代基盤技術の開発を大学研究機関等と積極的に交流しながら進めてまいります。

これからも引き続きご期待くださいますよう、そしてなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と代えさせていただきます。

\*1 表示部分が柔軟で変形・屈曲可能なディスプレイ。軽い、割れない、デザイン性が高い、といった特長を持っています。



代表取締役社長  
杉本 重人

## トピックス

### FPD(フラットパネルディスプレイ) 設備投資に回復の兆し

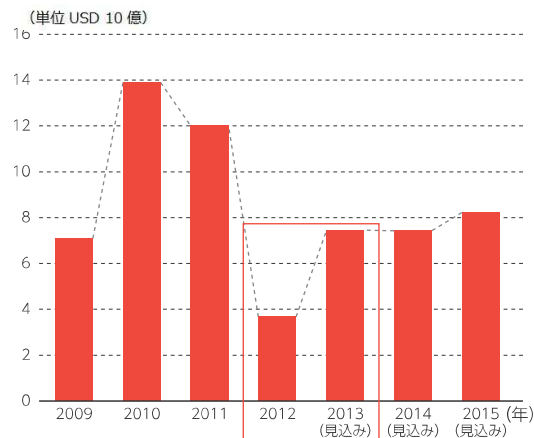
#### ～複数の大型案件受注に成功～

FPD設備投資に回復の兆しが現れる中(グラフ)、工場新設プロジェクトに関わる大型案件の受注に2013年1月(受注金額:23億円)と2月(受注金額:15億円)に成功いたしました。

当社は、海外のお客様のご要望にきめ細かに応えながら営業活動を推進する為に2000年より海外拠点整備を本格的に開始し、FPD産業が集積されているアジアにテクニカルサポートセンターを構築してまいりました。一方、現地でのブラン

ドイメージの向上を図るべく展示会へ参加し、積極的なPR活動を実施してまいりました(写真)。これらの活動がお客様より評価され、今回の大型案件受注に至りました。2014年3月期も新設プロジェクトの大型案件が予定されており、今後も受注活動を鋭意邁進させ事業拡大に努めてまいります。

グラフ：FPD設備投資推移

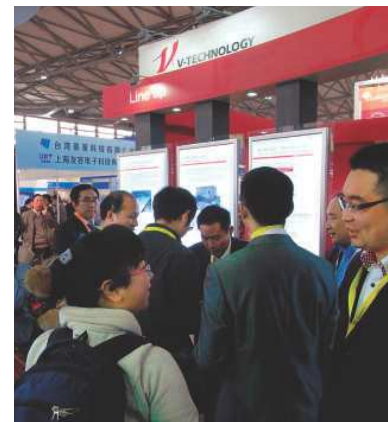


(ディスプレイサーチ社データに基づき、当社にて作成)

写真：中国におけるPR活動 (FPD CHINA 2013への出展)

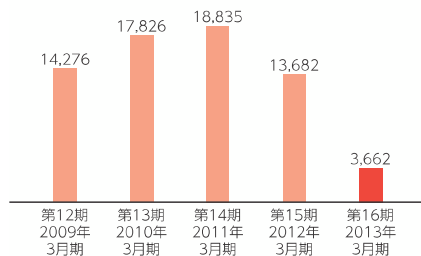


当社ブース外観

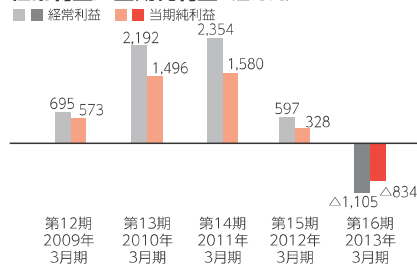


ブース内

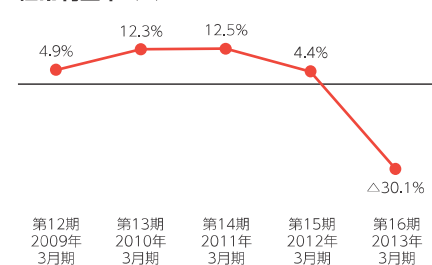
売上高 (百万円)



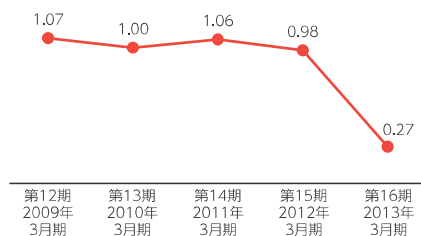
経常利益/当期純利益 (百万円)



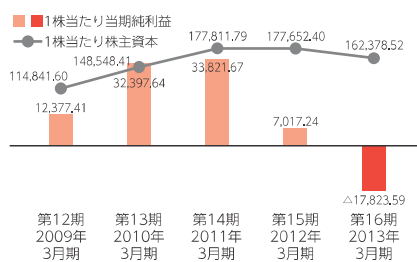
経常利益率 (%)



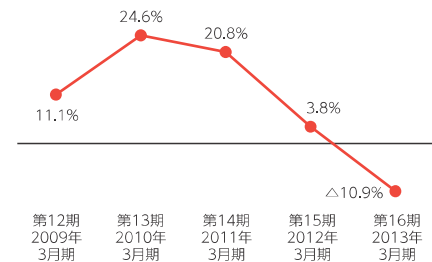
総資本回転率 (回)



1株当たり当期純利益/1株当たり株主資本 (円)



ROE (%)



● 2014年3月期 (第17期) の業績見通し

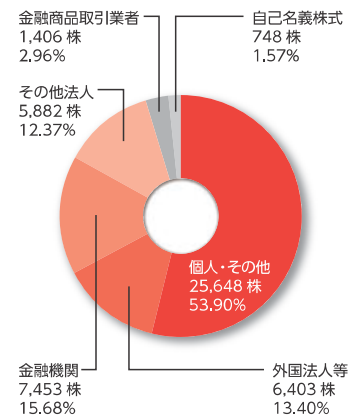
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期純利益 (円 銭)
業績見通し 2013年5月10日発表	11,400	400	350	200	4,274.23
(ご参考) 前期実績	3,662	▲1,142	▲1,105	▲834	▲17,823.59

2014年3月期のFPD市場は、中小型液晶ディスプレイの設備投資に加え、投資計画が延伸していたテレビ向けの設備投資も動き出します。当社グループは、液晶ディスプレイ案件に加え、成長が期待される「有機ELディスプレイ分野」について受注活動を強力に推進いたします。また、更なる製品開発を進め、新たな事業分野の創出により業績回復に注力してまいります。

※業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。見通しには様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は種々の要素により業績見通しとは異なる場合があることをご承知おきください。

株式の状況 (2013年3月31日現在) Stock Information

- 発行可能株式総数 175,903株
- 発行済株式総数 47,540株
- 株主数 5,986名
- 株式所有者別分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率 (%)
杉本重人	5,613株	11.80%
新菱冷熱工業株式会社	4,901株	10.30%
ニューヨーク銀行メロン	1,432株	3.00%
日本マスター信託口	1,324株	2.70%
資産管理サービス信託銀行口	1,239株	2.60%
日本トラステイ信託口	1,077株	2.20%
ジェービーモルガンチェースバンク	952株	2.00%
日本証券金融株式会社	715株	1.50%
パークレイキャピタル証券	650株	1.30%
資産管理サービス年金特金口	628株	1.30%

当社は自己株式748株を保有しておりますが、上記から除いております。

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
  - ・ 期末配当金 3月31日
  - ・ 中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
  - ・ 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
TEL：0120-232-711 (通話料無料)
  - ・ 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス  
<http://www.vtec.co.jp>

(ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD FONT



## 会社の概要 (2013年3月31日現在) Company Profile



社 名：株式会社ブイ・テクノロジー  
設 立：1997年10月16日  
本 社 所 在 地：横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F  
TEL：045-338-1980 FAX：045-338-1781

## 役員

代表取締役社長	杉本重人
専務取締役	梶山康一
常務取締役	藤井邦夫
取締役	和田正

取 締 役	勝原隆
常 勤 監 査 役	大倉修和
監 査 役	吾田啓一郎
監 査 役	住田勲勇

## 海外拠点



韓国 V Technology Korea Co., Ltd.

台湾 V-TEC Co., Ltd.

中国 Shanghai V Technology Co., Ltd.